

「6つの責任」に基づき、 グループ全体でCSRを推進しています。

ニチレイグループは、生活者の皆様やステークホルダーから信頼される存在であり続けるために、「6つの責任」を掲げ、その方針に基づきCSR活動を推進しています。

ニチレイグループ6つの責任

新たな顧客価値の創造

P10

新たな商品やサービスを創り出し、
生活者の課題解決をする

コーポレートガバナンスの確立

P24

透明で迅速な経営を行う

働きがいの向上

P20

従業員の働きがいを高める

環境への配慮

P26

地球環境の負荷を低減する

コンプライアンスの徹底

P23

法律や規制を守り、倫理性を高める

ニチレイらしい社会貢献の推進

P40

「食」「健康」「スポーツ」をキーワードとした
従業員参加型の社会貢献の推進

ステークホルダーとのコミュニケーション P43

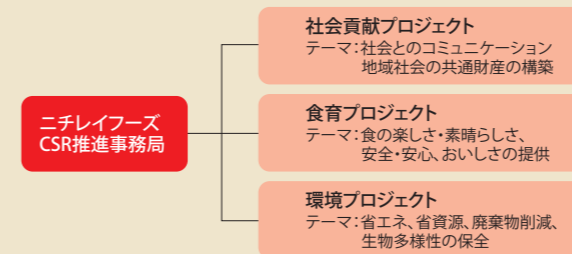
CSR推進に向けた取り組み

事業会社独自の推進体制を構築

ニチレイグループでは、グループ全体の取り組みを実現するために、事業会社ごとに独自の推進体制を構築しています。

たとえば、加工食品事業のニチレイフーズでは、通常業務内で6つの責任を推進しながら、特に「社会貢献」と「環境への配慮」の2つに「食育」を加えた、3つのプロジェクト(P)に取り組んでいます。それぞれがCSR推進事務局を中心として有機的に連携しながら、社会共志向の地域貢献(社会貢献P)、「食育」を通じた笑顔と会話の創造(食育P)、地球と社会への気配り・目配り(環境P)など、地域密着型のニチレイフーズらしいCSRへの取り組みを推進しています。

ニチレイフーズのCSR推進体制



CSRに関する社内啓発活動を実施

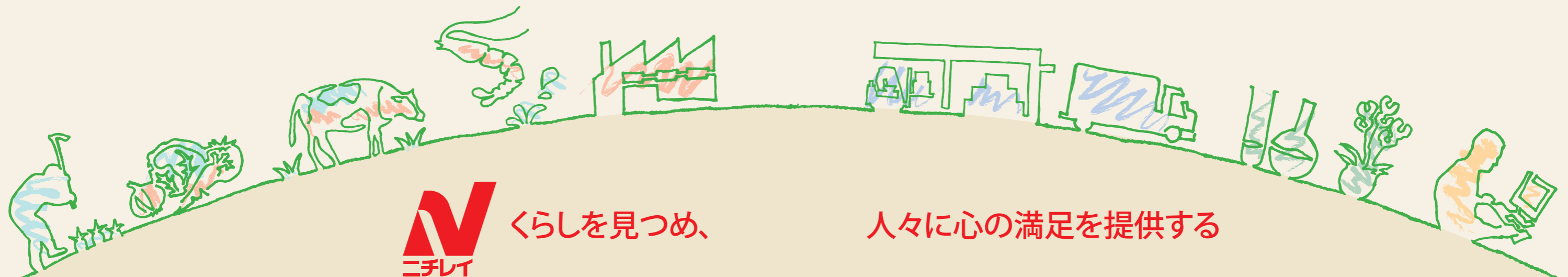
シェアードサービス事業のニチレイプロサーヴでは、総務・経理などの間接業務を担当する従業員にもニチレイグループが掲げる「6つの責任」を理解し意識してもらうため、CSRに関する社内啓発活動を実施しています。

その一環として、2007年9月から10月にかけて、ニチレイプロサーヴの本社地区において「社会環境報告書を読む会」を8回開催し、延べ121名が参加しました。

研修では、ニチレイグループのCSR活動の考え方、方針についての説明を通じて、CSR活動に関する理解の浸透を進めました。

特に、「6つの責任」について自由に記述する時間を設けるなど、参加者が主体的にニチレイグループのCSRの考え方を深く理解できるように工夫しました。

2008年度も同様の活動を展開し、「6つの責任」の浸透を図っていきます。



くらしを見つめ、

人々に心の満足を提供する